

# 地域と学校

を考える

今、長野県の多くの自治体では、少子高齢化の課題に直面していて、その結果、小・中学校の統廃合も進められています。高校も、県教委による「学びの改革」による統廃合が進められようとしています。長野県の公立高校は、長野県〇〇高等学校が正式な名称です。これは、前身が小さな自治体がお金を出し合い学校組合をつかって運営されていた学校が多かったことに由来しますが、地域が学校教育に期待していたものは何だったのでしょうか？いま、その「地域」と「学校」が存続の危機にさらされています。二者の協働による取り組みも行われていますが、さらに「学校教育」と「社会教育」の連携が必要になってきています。今回の総研では、「地域」、「学び」、「進路指導」などを含め、「多様な生き方」、「地域で生きる」ことなど、皆さんとともに考えてみたいと思います。多くの皆さんの参加を期待します。

## 第5回総合研究会

日時 2017年12月16日(土)

10時30分～

会場 高校会館 大会議室

講演 細金 恒男さん(早稲田大学)

### 「地域あつての学校 学校あつての地域」

実践報告1 「CHUKOらんどチノチノ」

実践報告2 「蓼科学」

2017

12月16日

長野県教育文化会議  
長野市県町593

<http://kyobun-kaigi.sakura.ne.jp/>

TEL 026-234-2216 FAX026-234-2219

E-mail kyobun.nagano-h@educas.jp

教文  
会議